

第5回国土交通省直轄事業の建設生産システムにおける 発注者責任に関する懇談会＜議事概要＞

【日時】平成19年4月20日（金）10：00～11：45

【場所】弘済会館 4F 蘭

【議論のポイント】

企業評価専門部会について

- 中小企業と大企業が同じ評価方法でよいのか疑問がある。
- 検討結果を次回の競争参加資格審査に反映させるのであれば、スケジュールを含む検討プロセスを早期に公表していくことが重要である。
- 2年に1回の競争参加資格審査、工事ごとの審査、総合評価の3つのプロセスの役割分担を整理する必要がある。

設計・施工プロセス専門部会について

- 施工プロセスチェックを職員が行う場合にも、外部技術者と同様に職員の技術力のチェックが必要ではないか。職員の技術力向上に向けて、資格・研修等のプログラムを整理しておく必要がある。
- 下請業者に対して表彰だけでなく、工事成績をつけることが必要ではないか。
- 施工プロセスチェックは監督・検査の大きな改革であり、現場で混乱する場合も予想されるため、中間段階でもフォローアップ結果について議論していく必要がある。

設計コンサルタント業務等成果の向上に関する懇談会について

- 設計コンサルタント業務だけでなく、工事においても手続の長期化は課題となっている。品質確保の根幹を成す工期について適切に設定していく必要がある。

その他

- 「会議は公開を原則とする。ただし、委員長の判断により非公開とすることができる。」と規約を改正する。
- 入札・契約等の環境が変わっていく中で、発注者の責任を見直していくことは大事なことであるため、一般の国民にも積極的にPRしてほしい。
- 一般国民に対して説明できるよう平易な表現、丁寧な説明が必要である。

今後の予定

- 各専門部会等の進捗に応じて、本懇談会にて検討結果を議論する。

以上